

石クリ通信

3月号

音と画像のズレ

院長 石川 悟

テレビやビデオ、さらにインターネットでも動画が当たり前になりました。自分でもビデオの編集が簡単にでき、また世界中から素人がアップロードした映像（YouTube）がいつでも見られるようになったのは驚きです。

演奏の映像などを見て、時々違和感があり、よく観察すると、音と画像のズレが原因のことがあります。その違和感は、画像より先に音が聞こえる場合に顕著です。パソコン処理をした場合、データ量の少ない音データが先に出て来ってしまうのかもしれない。音が映像より遅れて出る場合は、さほど変な感じはしません。実際に演奏会で後方の座席にいれば、演奏者の動きより、音の出は遅くなっているのを何度も経験しているせいでしょう。花火でも、雷でも光が先で、音は後で聞こえるから安心です。百メートル走のスタートの時だけは、音が遅れて聞こえると、全員がフライングになっているように感じ、人間の感覚もけっこういい加減だな、と思います。

春よ来い来い

薬剤師 石川 恵

まだまだ寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。寒さに弱い私は暖かくなる日を日々待ちわびております。そんな感じ、で、今回は「個人的に春に聴きたくなる曲特集」をお送りします。1.「なごり雪」春といふより晩冬でしょう。をつきさイルカさんの歌だと思ひ込んでいましたが、元は「かぐや姫」さんの曲だったことが判明。ヒットから40年近く経ちますが、福山雅治、平原綾香など多くの歌手にカバーされています。2.「桜」コブクロ。この曲は歌詞がじんときます。切ない曲ですが桜を見てると聞きたい衝動に駆られます。今年も例年より梅の開花も遅いらしいですね。早く来い来い春よ来い。

くじ運が命

看護師 高山 早苗

私のマンションでは三年ごとに駐車場の入れ替えがあり、その際、台数分の駐車場が無い為くじ引きになってしまいます。二台分一台分かで運命の分かれ道です。第一回は希望場所を選択し重複しなければそのまま契約になります。しかし我が家は希望箇所が重複し、抽選になり見事はずれました。次の抽選は通し番号をひいてその順にあてられている場所を選んでいくのですが、十二世帯中ひいた番号は九番、なんてくじ運の弱いこと、でも二台分の最後の一つが残っていました。しかもマンションから一番遠い場所です。でもとれてよかったです。三年後もとれるといいな。

琴

事務長 石川 都

今は家族カルテットでピオラを弾いている私ですが、実は結婚前までお琴を教えていました。お琴には「六段」が有名な山田流と「春の海」で有名な生田流があり、爪が丸く「うた」が中心の山田流は関東以北に多く、爪が四角で技巧的な演奏中心の生田流は関西に多いと言われます。お琴は桐でできていて軽く、中は空洞で、表面に十三本の弦を張り、それぞれの弦に柱（じ）を立てて音程を調整します。表の木目は波を表し、高価なものほど木目は細かく美しくなります。（娘たちによると、お琴は音程が定まっていれば弦をつま弾くので、一音一音音程を作らねばならないバイオリンよりは易しいそうです。）

私も今ではお琴を弾くことはほとんどありませんが、数年前までは勤務先の茨キリ大で、アメリカからの留学生に日本文化論として英語でお琴の講義と実習をしていました。またはるか昔の私たちの結婚式では、院長が仲間とチェロを弾き、私が弟子と箏曲の寿歌の「高砂」を演奏しました。来賓や友人たちでなく、新郎新婦が自らの結婚式で演奏するのは珍しいと話題になりました。今思うと、石クリコンサートでの家族総出の自前演奏の先駆けだったかもしれません。

2月の出来事

事務 森 絵里子

2013年になりもう3カ月。・紅白のヨイトマケの歌で涙してからもう3カ月。・月日が経つのは本当に早いですね。最近では寒さもあってインドアな生活続きでしたが、先月のお休みに栃木までドライブに行ってきた。那須ではアルパカ牧場へ行き雪の中アルパカの子供たちとふれあい、夜は日本夜景遺産にも認定された日光のかまくら祭りへ行きました。湯西川温泉の冬の風物詩でも幻想的で綺麗でした。往復私の運転だったのでヘトヘトになるかと思いきや意外と元気が余っていたので、まだまだ若い！と自信を持って日帰り旅行になりました。いちご狩りが予約でいっぱいできなかったので、道の駅の物産コーナーでとちおとめを1パック買い、吹雪の中食べた事が一番の思い出です。

父の思い出

看護助手 柴田 さち子

三月は父の十三回忌があります。父の職業は床屋。子供の頃を思い出します。大晦日は仕事が終わるのが朝方で、毎年仕事が終わってから父と母が餅つきをします。三時か四時にできあがると、眠っている子供達を起こして「餅ができたから食べな」と。私達は半分眠りながら、つきたての餅を食べました。「おいしい」と、その味は今でも忘れません。父は無口で、もくもく働いている姿を思い出します。滅多怒らない父なので、怒った時は怖いと兄達は言っていました。八〇歳まで仕事を続けていました。まだまだ続けたかったと、子供として父を尊敬し、感謝の気持ちでいっぱいです。

時間の問題です

看護師 澤田 彰子

小学5年の長男の身長が9月から4cmも急に伸びて、身長差がわずか2cmになってしまいました。先日も鏡の前で並んだ時に「お母さん、最近小さくなったんじゃないか」とひとこと。男の子だから大きくなったんじゃないかと思いつつ、見下ろされるのも時間の問題だと思ふと淋しくもありちよつと複雑な気持ちです。でもまだ、腕相撲だけは負けたくないぞ！

思い違い

事務 石川 香

今月の石クリ通信は、退職したことだし、スペースが無かったら失敬しようと思ったのですが、編集していたら多くのスペースが残ってしまったので一言。おかげさまで、東京での仕事が無事決まりました。本来だったら3月20日くらいまで、のんびり石クリニッックにパートで勤めながら職探しをしようと考えていたのに、早々とクリニッックを切り上げることになってしまいました。そして、新しい仕事は4月くらいからにして、それまではカナダのウイスキーヘスノボー留学に行っている友達の家へ遊びに行こうと思ったのに、2月の26日から早速入社してほしいと。仕事も頻繁に目立って帰ってきて、石クリニッックの仕事を手伝いながら、のんびりとできるというエナジーでいたのに。・各結婚式場に名前を載せるウエディングデザインナー「桂由美」の専属秘書という大役を担ってしまいました。（これまで院長秘書も兼任し、コンピュータが得意で、気が利くと言われる性格上、秘書の仕事を探していました）週に2日半、祝日があるとそれ以上あった休みが、今では日曜と隔週の土曜のみで、なんと祝日も出勤です。なんともんだ思い違いばかりの今日この頃です。有り難い限りですが、がんばります。

ラベル鑑賞

事務 久保 直子

最近、友人の影響で日本酒を頂くようになりました。味や香りも様々ですが、そのラベルも様々面白いのです。上の方は、若十波で「若波」。実にシンプル。味もスッキリ、とても飲みやすく美味しゅうございました。下は「我が天下」。蔵元のお母様の手書きだそうで、ドーンと主張しております。味も極辛口でラベルの印象どおりです。お酒を飲まれる方も、そうでない方も、個性豊かなラベル鑑賞、オススメです。

